

講義科目名称： 基礎看護学実習Ⅱ

授業コード： 2230100800

英文科目名称： Clinical Practice in Basic Nursing Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員			
◎岡村典子、◎川島良子、谷内田潤子、山岸美奈子、池田よし江			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 前期</p> <p>【授業時間】 60時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】</p> <p>◎岡村 典子</p> <p>◎川島 良子</p> <p>谷内田 潤子</p> <p>山岸 美奈子</p> <p>池田 よし江</p> <p>金井 系未</p> <p>実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【研究室】</p> <p>216</p> <p>206</p> <p>共同研究室1</p> <p>共同研究室5</p> <p>共同研究室1</p> <p>共同研究室5</p> <p>【大学の科目区分】</p> <p>専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】</p> <p>看護師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】</p> <p>○ ◎ ○ ○</p>
------	---

到達目標	病院における医療チームの活動を総合的に理解し、看護を実践する者としての基本的態度を養う。また、既習の知識・技術を基に、健康上の問題を持つ患者に個別的な日常生活援助を実践する能力を培う。
授業概要	上越市内の総合病院にて、医療チームの活動、及び医療チームにおける看護の役割について学ぶ。また、上越市内の総合病院・病棟にて、患者を受け持ち看護過程を展開するとともに、受け持ち患者実習を通して、看護職としての態度形成、看護の基礎的実践能力の修得を目指す。
授業計画	<p>授業内容</p> <p>授業形態：学内・臨地実習</p> <p>学習課題：医療チーム実習</p> <p>学習内容：・医療チームの活動について学ぶとともに、チームにおける看護の役割・機能について学修する。</p> <p>・臨床講義を通して、多職種連携における看護師の役割について理解する。</p> <p>備考：</p> <p>授業内容</p> <p>授業形態：臨地実習</p> <p>学習課題：受け持ち患者実習（病棟）</p> <p>学習内容：・患者を受け持ち、必要な援助計画の立案、実施、評価を行う。</p> <p>・学生カンファレンスを通して、学生間の体験や知識の共有を行う。</p> <p>備考：</p> <p>授業内容</p> <p>授業形態：学内</p> <p>学習課題：事後学習</p> <p>学習内容：・受け持ち患者実習にて展開した看護過程について、振り返りを行う。</p> <p>・全体カンファレンスにおいて、グループ討議・発表・意見交換を実施する。</p> <p>・カンファレンスを通して、学びの抽出・確認を行い、実習のまとめをする。</p> <p>備考：</p>
事前・事後学習	事前学習：基礎看護学に関する学修を振り返る。看護技術の復習を行う。 事後学習：健康上の問題を持つ患者への看護について振り返るとともに、実習を通して明らかになった自己の課題に取り組む。
評価方法、評価基準	到達目標に対し、実習状況、実習記録・レポートから評価表に基づき評価する。 評価は、実習担当教員が責任を持つ。 なお、評価の詳細は実習要項を参照すること。
必携図書	特になし
参考図書・資料等	実習要項を配布する。
受講、課題、資料配布等のルール	・1年次の必修専門科目について全て修得していることが条件となる。 ・詳細は、実習オリエンテーションで説明する。

	・実習要項をよく読み、実習に臨むこと。
教員からのメッセージ	病院にて、受け持ち患者を担当し、看護過程を展開する初めての实習になります。学内で学習した知識・技術について十分復習し、日常生活援助を安全・安楽に実施できるように努めてください。
オフィスアワー	